

コミュニケーション

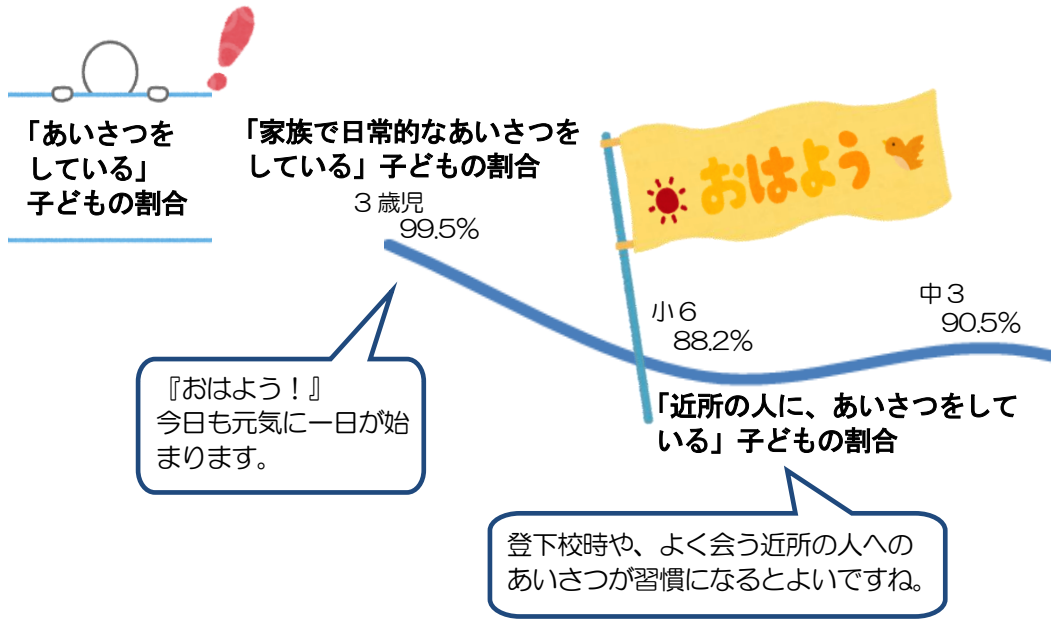
子どもⅠ期

「おはよう」  
そこから始まる 地域の輪

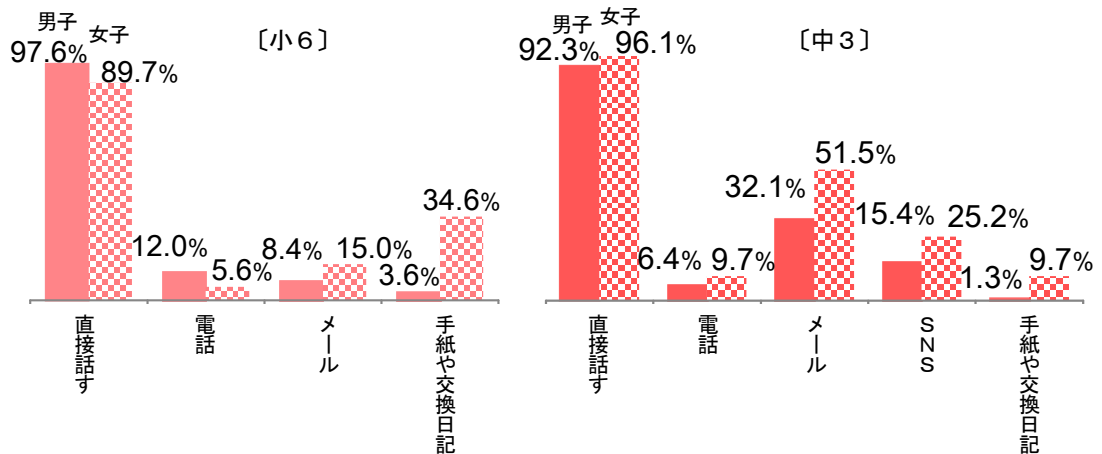
子どもⅡ期

向こう三軒両隣

健康づくりについての意識調査等からみえてきたこと



「自分の気持ちを伝える方法」について



青年期・壮年期

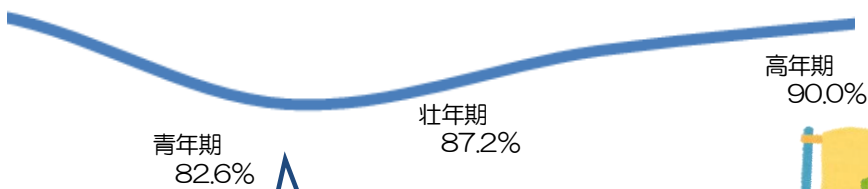
高年期

あいさつかわして 顔みしり



「地域の人と  
付き合いをして  
いる」人の割合

地域の人との付き合いがまた増える年代です。  
定年退職後の「地域デビュー」という言葉もありますね。  
趣味の仲間との付き合いや、自治・町内会の活動、ボ  
ランティア等…あなたはどこから始めますか？



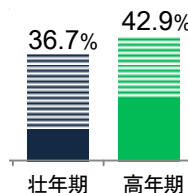
生活スタイル等の違いで、「挨拶  
をする程度の付き合い」もない人  
がいるようです。



「子ども会や町内会の行事などに参加している」  
「まあ参加している」子どもの割合



「地域での活動（自治・町内会、サークル、  
ボランティア等）に定期的に参加している」  
「時々参加している」人の割合



子どもI期

「おはよう」 そこから始まる 地域の輪

【現状と課題】

- ・3歳児で、「家族で日常的なあいさつをいつもする」「まあする」子どもは、99.5%（平成17年度 「いつもする」「時々する」99.4%）。
- ・小6で、「近所の人に、あいさつをよくする」「まあする」子どもは、88.2%（平成17年度 「自分からあいさつする」64.7%）。
- ・小6で、「自分の思ったことを、人に伝えられる」子どもは、37.9%（平成17年度 29.2%）。
- ・小6で、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」子どもは、55.0%。

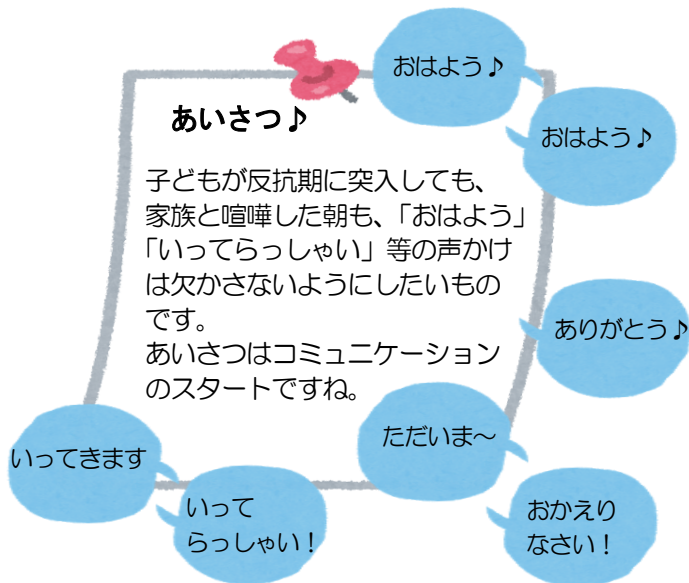
【一人ひとりができること】

- ・家族で、学校で、近所で、まずは「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」そして「ありがとう」。



【みんなのできること】

- ・自分から、あいさつをする。
- ・ニコッと笑顔で子どもにあいさつを返す（大人がお手本を示す）。
- ・してはいけないことは、はっきり伝える。
- ・子どもの話に耳を傾けて「聴く」。
- ・子どもが体験したことに共感する。



例えば…朝活といえ、小学生から、年配の方までが一緒に行っている「ラジオ体操」。その場に行けば、自然と「おはよう♪」と声が出ますね。

## 子どもⅡ期

## 向こう三軒両隣 あいさつかわして 顔みしり

## 【現状と課題】

- ・中3で、「近所の人に、あいさつをよくする」「まあする」子どもは、90.5%（平成17年度「自分からあいさつする」72.1%）。
- ・中3で、「自分の思ったことを、人に伝えられる」子どもは、41.0%（平成17年度27.8%）。
- ・中3で、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」子どもは、81.0%。

## 【一人ひとりができること】

- ・家族で、学校で、近所で、まずは「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」そして「ありがとう」。
- ・見守り活動をしてきている人、登下校で会う人にあいさつをする。



## 【みんなでできること】

- ・お互い、自分からあいさつをするよう、心がける。
- ・親や周りの大人は、子どもの話にゆっくり、耳を傾ける。
- ・子どもが体験したことに共感する。
- ・してはいけないことは、はっきり伝える。



## いろいろな体験を生きる力に…

人は家庭や学校以外のところで、いろいろなことを体験し、そして、人との出会いや関わりを通して、協調性や相手を思いやる気持ちを育てていきます。同時に、社会のルールやマナーも学びます。

子ども会、自治・町内会、子ども会館の催し、地区社協の世代間交流などなど…いろいろな催しがありますね。

地域活動の世話役は、時間も労力も必要ですが、大人にとっても、いい成長の機会です。子どもを地域の目で見守ってもらうためにも、まずは親から、そして親子一緒に、地域と関わりをもっていきましょう。



青年期・壮年期・高年期

向こう三軒両隣 あいさつかわして 顔みしり

【現状と課題】

- ・「ふだん、地域の人との付き合い」は、「挨拶をする程度」が最も多く、青年期 67.3%、壮年期 64.8%、高年期 56.8%。  
「付き合いをしていない」人は、青年期 16.8%、壮年期 12.6%、高年期 7.3%  
(平成 17 年度 「地域の人とコミュニケーションがとれていない」青年期 29.3%、壮年期 13.4%)。
- ・「地域での活動に参加している目的」(複数回答)は、壮年期「地域貢献」67.2%、「趣味」20.5%、「その他」18.5%、高年期「地域貢献」59.5%、「趣味」31.9%、「健康・体力づくり」29.2%。

【一人ひとりができること】

- ・近所で、学校で、職場で、自分から「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」そして「ありがとう」。
- ・回覧板は直接、手渡す。
- ・自治・町内会の班長をやってみる。
- ・地域のイベントやお祭り、サークル、サロン等に参加してみる。
- ・なじみのカフェ、お店を見つける。

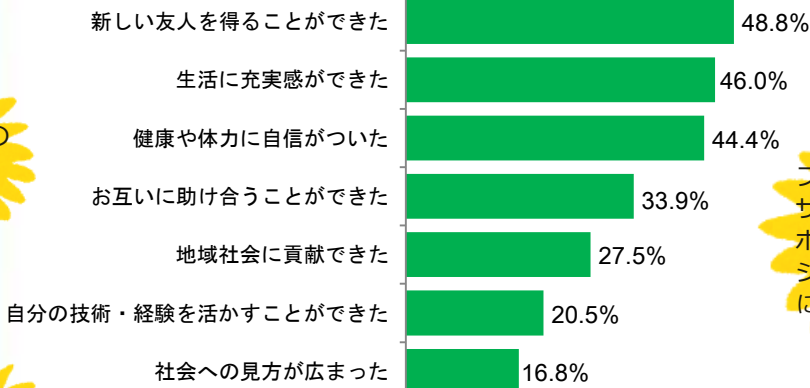


【みんなでできること】

- ・近所で知っている人、顔みしりを増やす。
- ・挨拶には、笑顔で返す。
- ・目と目をあわせて、耳を傾けて「聴く」余裕を持つ。
- ・相手を思いやり、気遣う。
- ・隣りの家の電球交換等、ちょっとした“助っ人”になってみる。



地域活動に参加して良かったこと



子どもたちの見守り活動

趣味の集まりに参加

ファミリーサポートセンターやボランティア、シルバー人材センターに登録してみる

地域の清掃活動

地域の防犯パトロール

犬の散歩を兼ねてわんわんパトロール

内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成 25 年)

